

# Rotary Yonago East Weekly

【未来を創造し、ロータリーの楽しさを共に活動し、体感しよう！】

創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 Tel (0859) 32-5531

●例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ANAクラウンプラザホテル米子

米子市久米町53-2 Tel (0859) 36-1111

●会長/上森 英史 ●幹事/岩崎 稔 ●会報/岡 宏徳

## 出席報告

会員数 108名

出席数 63名 欠席数 39名

出席免除会員 6名

荒川(雄)君 杉原(弘)君 新納君

宮本(守)君 高橋君 小谷君

出席率 62.86 %

## ビジター

### メイクアップ

次年度理事 12名 (5/23 次年度理事懇親会)

次年度理事 7名 (5/23 次年度理事ゴルフコンペ)

会員 7名 (5/23 野球同好会米子中央RC合同練習)

小林(慎)君 (5/26~31 RI国際大会(メルボルン))

会員 11名 (5/29~30 全国ロータリークラブ野球大会)

会員 9名 (5/31 セブ島訪問打ち上げ)

## 今週のお祝

### 結婚記念祝:

2日 中山 晴文 君	5日 新納 哲夫 君
6日 足立 耕太郎 君	7日 細田 耕治 君
14日 鷺見 雄司 君	24日 高橋 孝之 君
24日 石部 裕一 君	26日 小土井 秀明 君
28日 中村 剛士 君	

スマイルBOX 31,000 円 (1,063,000 円)

結婚記念日祝: 井上(賢)君、足立(耕)君  
田淵君、石部君、高橋君  
小土井君、中村君

❖ 5/10入会しました。

よろしく願いいたします。: 田中君

❖ 第1回理事会懇親ゴルフコンペで、3つの

ニアピン賞をゲットしました。: 今出君

❖ 2023-24年度理事会ゴルフコンペで、準優勝

させて頂きました。1年間よろしく願いしま  
す! : 船田君

❖ 第1回理事懇親ゴルフコンペ優勝。

運動会一運と道具と回数で優勝しました。  
: 佐田山(有)君

❖ 春の叙勲で家内が瑞宝双光章を受章しました。

: 井上(賢)君

## 【会長挨拶】



皆さん、こんにちは。

今日は本年度講師を迎えての  
最終例会となります。

講師を紹介をしたいと思います。株式会社上代  
の代表取締役社長、遠藤みさとさんです。上代と  
言えばお蕎麦が有名ですが、「どぶろく」をその  
流れで作られ、今は米子でも認知されるようにな  
りました。

今週末、世界大会が行われますが、小林慎一会  
員がご夫婦で行って頂くことになりました。よろ  
しく願いいたします。私は明日から鹿児島に行  
きます。6月の初めの例会で皆さんにご報告した  
いと思っております。今日は楽しみにしております  
ので、会長の挨拶はこれで終わりたいと思います。

## 《幹事報告》

(1) 本日卓話講師

株式会社上代

代表取締役社長 遠藤みさと氏

(2) 本日例会終了後、臨時総会開催

(3) 6/21(水) 最終夜間例会ご案内、本配信

(4) 5/29~30 全国ロータリークラブ野球大会  
(甲子園)

(5) 6月~9月 クールビズ

(6) 他クラブ例会変更等

## 表彰

第1回米山功労者  
佐田山有史副会長



## <本日のプログラム>

### 「26歳の挑戦」

… 株式会社 上代  
代表取締役社長 遠藤 みさと 氏



株式会社上代、代表取締役社長の遠藤みさとと申します。本日は貴重な機会を頂きありがとうございます。私は19年間米子市に住んでいました。高校卒業後、大阪の阪南大学経営情報学部に入りました。大学在学中にダラズクリエイティブボックスでタピオカ専門店を1ヶ月間させて頂きました。大学を卒業後、大阪のコンサルティング会社に就職しましたが、5ヶ月で退職し鳥取県にUターンしました。昨年8月にどぶろくを作っている株式会社上代の社長に就任しました。現在26歳です。約6割が県外就職をしているという現状です。大阪で就職をしましたが骨を埋める場所は絶対に鳥取県がいいと思っていました。若いうちに色々なものを見て経験してから帰って鳥取県を盛り上げていきたいという思いがありました。地域活性化に興味を持ったのは若い世代が思っている鳥取県の企業のイメージと実際にある鳥取県の企業のギャップがありそれをなくしたいと思ったのが始まりでした。若い人たちがすぐく楽しい気持ちになるような場所を作り、満足して楽しい思い出が残ることでこの地が大好きになるかなと思いました。当時タピオカ専門店がないのでちょっとチャレンジしてみようと思い2019年8月にオープンし、約40日間でおおよそ7,500人が来店して下さいました。この経験を通して鳥取県を盛り上げていきたいと思いました。会社の説明をさせて頂きます。伯耆町の旧溝口地区で蕎麦とどぶろくで地域おこしをしようと地元の有志が集まって株式会社設立されました。2009年に設立されその年に鳥取県では初めて「どぶろく特区」に認定されました。弊社は「源流どぶろく上代」を作っています。日本一のどぶろくを作ろうということで精米度50%の伯耆町でとれた五百万石という酒米を使っております。平成25年の第8回全国どぶろく研究大会では最優秀賞を受賞することができました。私たちは免許が違うので少しでも濾過してしまったら法律違反になりますので日本酒は作れません。私がなぜ社長に名乗り出たのかと言いますと、Uターンして帰ってきた時に経営者の高齢化やコロナによって売り上げも減少し、建物の老朽化もあり、そろそろ潮時だから廃業する予定と聞きました。地元の良いものが無くなってしまふのは非常に勿体ないしすごく寂しいことだと思いました。地域活性化がしたいという思いとまちづくり会社として設立された理念に共感して承継を決めました。環境の変化や色々なことがありましたが今もこうやって残っていることにすごく価値を感じています。お米が美味しく、お水が美味しく、空気が美味しければ美味しいお酒はできません。会社は

二部小学校の福岡分校の跡地に作られました。田園風景が広がっていて本当に強みだと思っています。だからこそ残していきたいと思いました。関わってきて見えた課題です。まずどぶろくの認知度の低さです。若い世代は知らない方が圧倒的に多いと思いました。私が取り組んだのはSNS発信です。そしてNHKの「いいいじゅ-!!」で取り上げて頂き、放送終了後は電話が鳴り止まないという有難いことがありました。全国的にも事業承継や移住定住という日本の課題として取り上げられたので、私たちもどんどん発信していきたいと思っています。若い世代は日本酒にあまり良くないイメージを持っていると感じていました。だから生産から入ってもらい、自分が作ったお米でできたお酒を飲み、人に自慢したくなるような流れを作りたいと考え、田植えを自社イベントにしてみました。鳥取大学に留学で来られている外国人の方も一緒に田植えをしました。関西からも参加者がありました。甘酒に着目し甘酒は飲む点滴で健康的ということで市場がどんどん拡大している中、女性向けに朝専用甘酒を作り、1ヶ月ぐらいクラウドファンディングをして236名の方に支援を頂きました。これも鳥取県だけでなく全国の方に知って欲しいと思いチャレンジしました。私は4代目ですが血縁関係は一切ございません。第三者承継だからこそ先代の思いを大切にしています。味を引き継ぎ、地元の方に愛される会社していきたいと思っています。私の最大の責任は企業を永続させることだと思っています。株式会社上代を通してこの地域の人々が元気になること、起爆剤となり周りの企業にも活力を与えられるようになり、次の世代にも先代の思いを繋いでいきたいと思っています。私に出会って良かったと思われることを目標としています。興味を持ったことは何でもやってみようと思っています。チャレンジすることによって誰かの何かの可能性を広げられると思っています。高校を卒業して県外に出るのは鳥取県では一般的だと思っています。帰ってきたいと思えるために若い人たちのキャリア支援をしたいと思っています。この地域を誇りに思うふるさと作りもしたいと思っています。子供たちの可能性を広げる人になりたいです。ありがとうございました。

### 【次回プログラム】

6/7 「ロータリーの友」紹介  
「私の職業」

宮本寛雄雑誌委員会リーダー  
野島 剛 会員